

生徒意見

佐渡さんが、問題や困難な壁が立ちただかっても、夢への扉を開いていけたのはどうしてだろう。

夢への扉を開いていけたのは、苦しい時や、困難な時でも、あきらめな^い、姿勢を続けた^り、私入を、私入
形に、弱^い筋を出した^り、^いつに弱^い筋に負けた^ら自分の弱^さを続けた^らから。
私入^はあきらめな^い姿勢や、努力をして、弱^さを出した^ら、それが「結果として、
形に出た^ら、それが「^いつに人生を生き抜いていくための、柱^{にな}る^た、必ず「無意味な物や、
価値のない物には、ならない。それは、弱^い筋に勝つことができた^らから。
ほとん^どは、夢への扉を開く鍵^として、自分と比較して、いつかは、逃げた^らから、
私入^はからひるみに悲^しまれているから、いつか苦しくなることが多く、
努力をしていても、続けられない自分がいるので、いつか困った^らに、
必ず「確実に弱^い筋に勝つことができた^ら、これからは、弱^さをいっしょに、
自分に自分の力で勝つていって、挑戦していける^たです。

佐渡さんが、問題や困難な壁が立ちただかっても、夢への扉を開いていけたのはどうしてだろう。

指揮者へのあこがれを失わずにモチ続けていたから、だと思います。
例えば、佐渡さんは、演奏者^と意見が合^わず、言い合い^{にな}った事^も
あります。けど、自分への可能性を信じて、立ち向か^ったから、最後^に
は、夢^にた指揮者^{にな}れたんだと思います。
また、指揮者^{にな}った今^は、好きな音楽を、自分の仕事^に出来^た事^も
と^も誇りに思う程、音楽を愛^していたからではないか^{と思}いました。
私も、吹奏楽部^に入り、楽しみもあるけれど、不安^もゼロ^{では}ありません。
先^に、そんな時^に、弱^さをいっしょに、一歩^を踏み出さなければなら^ない
と感じました。これから始まる^ら部活^もだし、それ以外^の事^も、この
ことを頭^に入れておきたい^{と思}います。

佐渡さんが、問題や困難な壁が立ちはだかつて、夢への扉を開いていったのはどうしてだろう。

目の前に訪れたチャンスは「自分は無理」とあきらめるのではなく

勇気を出して立ち向かったことだと思う。小さい頃から音楽にかかると

仕事が出来ないと思いき、言葉が通じず言い合いになったり、体調が悪くても台に

立ち上がりながらも、夢へ近づく一歩だと思いき、勇気を出して立ち向かった

から、佐渡さんは成功したのだと思う。自分は将来何をしたいのか

まだ決まっていなくても、決まった時には、訪れたチャンスに

勇気を出して立ち向かいあきらめずがんばりたいです。もし、チャンス

生かせなかったり、成功できなかったとしても、その時の自分に後悔は

したくないです。後悔しないよう日々努力をして自分の成長に

つなげたいです。

佐渡さんが、問題や困難な壁が立ちはだかつて、夢への扉を開いていったのはどうしてだろう。

僕は佐渡さんが夢に向かって本当の最初の一步目を踏み出すことができたことが夢への扉を開けていった理由だと思いました。「始まりが半分だ」というフレーズがあるように夢を持つことはできてもその夢に向かって具体的に何かを今やり始めている人はほとんどいないんじゃないかと僕は思います。実際僕も消防士になりたいという夢がありますか消防士になるために何か必要かなんて最近調べるまで全くわかりませんでした。つまり佐渡さんは何か必要なのかなどの指揮者になるための努力を始めることができたから指揮者になることも指揮者になってから勇気を出して挫折がなかったんだと思います。僕も消防士かどういう職業か調べて僕の中の消防士像をしっかりとためてあこがれを心の奥にもち、消防士になるためにできることを始めていきます。

佐渡さんが、問題や困難な壁が立ちだかっても、夢への扉を開いていけたのはどうしてだろう。

自分がやりたいと思ったことを最後までやり抜くという気持ちがある
からしんどいことがあってもこの気持ちを忘れずにやっているので
夢への扉を開いていけたと思います。指揮をやっている言葉が
通じなかったり体調が悪くて舞台上に立たないといけなかつた
たりたしさんの問題があると書いてあつたけど、それだけ
音楽が好きな気持ちがあるからこゝろ続けられると
思いました。

吹奏楽をやっている自分は、規模がちがうけれど同じ
立場としてこの人の話はとても勉強になりました。

佐渡さんが、問題や困難な壁が立ちだかっても、夢への扉を開いていけたのはどうしてだろう。

佐渡さんが扉を開いていけたのは、「絶対に夢を叶えてやる」という強い
信念があったからだと思います。しかし自分の技術が下手なことも、
同じ無理だと笑われても、自分が決めた一つの事を最後まで
やり抜くという事が一番大切なことこの文章を読んで感じました。
しかし、それを孤独に一人でやるのではなく、一人ではどうにもできないときは
周りの友達や頼れる人へとどんどん頼っていかないと大切なことだと思います。
「一人で生きていく」と思いたちだけれど、人間は決して一人では何もでき
ません。だから、佐渡さんのように「笑顔で」、勇気を出して、努力
を続けることだと思います。自分自身、途中であきらめたりしてしまう事が
多いけど、もう「やり抜く」という年齢、立ち場ではあると思います。
だからこそ決めたことを「笑顔で」、そして勇気を出して最後までやり抜
くことができたと思います。